

2022年6月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

製造業の業況、回復は3か月ぶりの軟調なペース

主な動向

生産高と新規受注数の増加は緩やかに

サプライチェーンの混乱により、企業の安全在庫積み増し進む

購買価格の上昇、調査史上で4番目に速いペース

2022年5月のデータ収集期間：2022年5月12～24日。

日本の製造業における5月の業況は、緩やかながらも堅調な回復を示した。第2四半期半ば、生産高と新規受注数の成長率は緩やかに上昇。ただし、生産高は3か月、新規受注数は8か月連続で増加する中、成長率はそれぞれの最低水準に低下した。需要減少に加え、納入遅延や原材料不足が依然として購買コストの圧力を強め、サプライチェーンへの圧力が高まったことが報告された。製造業の購買価格上昇率はおよそ14年間で最大となり、調査史上では4番目に速いペースである。企業らはさらに、混乱が続く中安全在庫をさらに積み増したことを指摘。原材料在庫数は調査史上2番目となる速いペースで増加した。

5月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、4月の53.5から53.3へと若干減少し、製造業の業況が緩やかではあるが堅調に推移したことを示した。増加率は2か月ぶりの最低水準だった。

最新データによると、生産高はわずかに増加し、3か月連続の増加ではあったものの、そのペースは3か月ぶりの低水準となった。生産高の増加には新規受注数の増加が要因に挙げられた。しかし、一部の企業らは、価格高騰や原材料不足が成長を圧迫したと指摘した。

同様に、新規受注数の成長率も鈍化した。成長のペースはわずかで、直近8か月連続の増加の中で、最も遅いペースとなった。国内顧客の信頼感改善が売上高増加の要因に挙げられたが、海外の売上高は、中国で新型コロナの感染が拡大しているため減少した。そのため、新規輸出受注は3か月連続で減少し、2020年7月以来の減少率だった。

日本の製造業は5月、購買活動がさらに活発になったことを指摘。増加は8か月連続となる。納期遅延と原材料不足の中、購買品の調達や入荷に問題が生じているため、成長率は4月よりも緩やかだった。実際、平均サプライヤー納期は7か月間で最大の長期化を記録した。納期遅延への対策として、製造業は安全在庫の積み増し

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「日本の製造業は5月、2か月連続で業況が緩やかに回復したことを指摘。全体的には堅調な回復を示したものの、最新の製造業PMIは2月以来の最低水準に低下した。生産高と新規受注数の増加は緩やかだ。特に新規受注数は、サプライチェーンの混乱と原材料価格高騰が続く中、増加率は8か月ぶりの低水準となった。

中国で再び導入されたロックダウン措置により混乱は悪化し、サプライヤー納期がさらに長期化した。納期の遅れは昨年10月以来最悪で、全体的にも著しい。企業らは、原材料調達が困難であるため安全在庫を急激に増やし、在庫は調査史上2番目の速いペースで拡大している。

原材料不足とロジスティクスの問題もコストの継続的な増加の原因となっている。平均購買価格は調査史上4番目に高い顕著な上昇率を記録。企業らは、原油や半導体など、原材料と燃料のコスト増大を上昇の要因に挙げた。

しかし、今後1年間にわたる見通しは、コロナ禍やウクライナ紛争の収束により、需要やサプライチェーンの広い回復につながるの期待に後押しされ、さらに強まった。これは、2022年の製造業生産高増加率を2.9%と予想する、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスの考えと一致している。」

を進め、原材料と半製品の在庫は調査史上2番目となるペースで上昇した。

5月のデータは、日本の製造業で平均間接費がさらに増加したことを示した。購買価格のインフレ率は大幅で、調査史上4番目の上昇率だった。企業らは利ざやを確保するためコストの一部を顧客に転嫁しており、販売価格がさらに顕著なペースで上昇した。しかし、インフレ率は3か月ぶりに減速した。

5月は受注残の増加率が2021年4月以来の高い水準になるなど、生産能力への圧力が高まったことが示唆された。これを受け、日本の製造業は生産能力の増強に努め、雇用者数は14か月連続で増加。雇用者増加率は前回の調査期間から加速した。

今後について、企業は今後1年間にわたって生産高が増加するという予測を維持しており、第2四半期半ばにおける景況感が高まった。製造業は、コロナ禍や、ロシアとウクライナの紛争の影響が薄れ、需要とサプライチェーンは堅調に回復するだろうと予測した。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti

エコノミスト
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話：+44 1344 328 370
usamah.bhatti@spglobal.com

Joanna Vickers

コーポレートコミュニケーション
S&Pグローバル
電話：+44-207-260-2234
joanna.vickers@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です：新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年5月のデータ収集期間：2022年5月12~24日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱漏、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedの使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱漏(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください：www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。